





事業概要【健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト】



旧制度（推進）

申請者	滋賀県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	488,914千円（82,941千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖畔と内陸部をつなぐ観光周遊の流れの創出を図る。 ・観光客が地域を周遊することにより滋賀県の食や文化等の魅力を体験し、自ら情報発信することにより観光客の誘客へとつなげる好循環を図る。 ・サイクルステーションやレンタサイクル等を利用することにより、観光客が自らのニーズに合った健康でエコなマイクロツーリズムを推進するとともに、環境負荷の低いサステナブルツーリズムへの転換を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>地域経済の活性化を図るため、日本遺産をはじめとした県内観光コンテンツを活用したマイクロツーリズムの創出を目指す。</p> <p>内陸部ルートを活用した新たなサイクリング人口の創出 6,900千円 民間事業者とのネットワークづくり 7,700千円 安全、安心な受入環境づくり 8,300千円 交通安全指導員の配置など安全・安心な自転車利用促進事業 10,618千円 健康でエコな日本遺産ツーリズムの展開 2,730千円 余呉湖周辺施設整備 25,526千円</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		   
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額（+1,096百万円） ②サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量（+1,534 t -CO2） ③女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数（+2,750人） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

※滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市、日野町の広域連携事業

事業概要【環境と経済・社会活動を両立する地域循環経済創生プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	784,103千円（162,655千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	国内外の地域のニーズに丁寧に対応するとともに地域資源を活かした地域循環経済を生み出しつつ水環境課題の解決に貢献することにより、本県の水環境ビジネスに対する認識やブランド力を高め、本県地域経済の活性化を目指す。研究を通じて明らかとなった琵琶湖固有の生態系の持つ価値や魅力を観光分野と連携して活用することで、環境保全と地域経済の活性化の積極的な両立を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○水環境技術のブランド化を中心とした海外展開等の推進</p> <p>○水環境技術をはじめとした環境ビジネスの推進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発支援（補助）15,150千円 <p>○新たな視点も取り込んだ水環境課題の解決に向けた先進的な研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖の水・湖底環境の健全性評価に関する調査研究（委託料）17,000千円 <p>○科学的知見に基づき地域資源を活用するビジネスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在来魚の生息状況に関する調査研究（委託料）17,000千円 		 <p>左図 研究・技術分科会の様子</p>  <p>右図 サイエンスエコツアーの様子</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①環境ビジネス関連のビジネスマッチング成約件数（+52件） ②ブランド認定した製品・サービスを扱う企業のうち売上高が前年度比で増加した企業の割合（+95%） ③サイエンスエコツアーのプログラム開発数（+8件） 		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>関連URL</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

事業概要【製造業のスタートアップとイノベーションを促進する、 「企業に寄り添うパートナーシップ型工業技術センター」整備事業】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,043,257千円 (1,106,548千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	人口減少が進む東北部地域で、総合的な技術開発拠点とし、イノベーション促進の要とするために、オープンイノベーションセンター（イノベーション創出支援棟、工場棟）を設置することで、地域経済の活性化の起点とする。		
事業概要・ 主な経費	<p>既存の東北部工業技術センターの統合移転において、オープンラボ（研究シーズを事業へと繋げる場）を整備し、ベンチャー等を創出するための環境を整えるとともに、オープンサロン（製品を「売る」ための支援場）、サテライト室（立地的に不便な企業の経営支援強化）、工場棟（製品の試作・評価）の整備により、オープンイノベーションを加速を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 1,082,128千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【設備整備】 設備整備費 24,420千円</p>		
KPI	<p>①滋賀県北部の製造品出荷額（+80億円）</p> <p>②オープンイノベーションセンターを活用し、県内企業が県外の企業と商談を行った件数（+100件）</p> <p>③東北部工業技術センターの技術相談対応件数（+1,000件）</p> <p>④理系大学出身者の県内企業への就職者数（+120人）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>



※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【デジタルプラットフォームを活用した関係人口拡大事業

「かかわりファクトリー滋賀」(滋賀県)】

旧制度 (推進)

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	228,798千円 (43,356千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用により、本県に関心を寄せる人材の「かかわりしろ」が継続して生まれる。 ・デジタル実装が進み、全国から関係人口を呼び込むサイクルが確立する。 ・関係人口の力を活用した地域課題の解決や新たな視点での地域の活性化が図られる。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルプラットフォームの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・システム運営 (負担金) 15,785千円 ・体制管理費 (負担金) 4,097千円 ○デジタル地域コミュニティ通貨の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・システム運営 (負担金) 9,240千円 ○ひとづくりの推進 (デジタル人材の育成) <ul style="list-style-type: none"> ・エリアコーディネーター配置 (負担金) 8,910千円 ・普及促進 (負担金) 5,324千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">滋賀県の「かかわりしろ」を全国に向けて発信</p> <p>一例：お祭りのダンシ制作のお手伝い</p>  <p style="font-size: small;">仲原町 (近江八幡市) > 【左義長まつり】左義長ダンシ制作のお手伝い いしてくれませんか +2000 553</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="color: blue; font-weight: bold;">地域を支える人材が 県内で継続的に活躍</p>  </div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①デジタルプラットフォームを通じた関係人口創出数 (+8,000人) ②デジタルプラットフォームへのプロジェクト掲載件数 (+2,904件) ③デジタル地域コミュニティ通貨のユーザー数 (+20,700人) ④デジタル地域コミュニティ通貨のスポット数 (+1,575件) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html https://smout.jp/prefectures/25 https://coin.machino.co/regions/shiga

事業概要【地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県ほか7自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	717,634千円 (272,039千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・人口減少、少子高齢化に伴う地域の課題が、若者・よそ者など多様な人材や団体等の関わりによる「ソーシャルビジネス（社会的起業/企業）」の創出等を通じて解決されることを通じた、持続的で魅力的な地域づくり</p> <p>・移住、多地域居住、副業・兼業等働き方の変化と相俟って、自分が活躍できる場として、ソーシャルビジネスの担い手となる人材や団体等が継続的に供給される環境の創出</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○担い手の確保 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通し、持続可能な地域課題の解決スキームの検討（委託料：14,000千円）</p> <p>○地域への「関わりしろ」の見える化 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通し、持続可能な地域課題の解決スキームの検討（委託料：14,000千円） *再掲</p> <p>○支援団体（中間支援団体）の創出・育成 多様な人材・活動をつなぐための中間支援組織の育成 （委託料：21,500千円 報償費等：794千円）</p> <p>○多様な人材、民間活力の誘引力の向上 滋賀とのつながり創出事業（委託料：54,685千円）</p>	<p>目指す姿</p>	
KPI	<p>①地域課題解決プロジェクト組成数（+19件）</p> <p>②プロジェクトに関わる人数（+170人）</p> <p>③プロジェクトに関わる中間支援団体数（+27団体）</p> <p>④滋賀県の知名度向上（+3ランクアップ）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

※滋賀県、大津市、長浜市、近江八幡市、高島市、米原市、日野町、愛荘町の広域連携事業

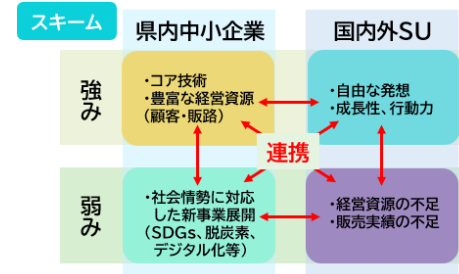

事業概要【滋賀の農業・水産業「人材活躍」プロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	302,587千円（103,554千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<p>・本県農業・水産業における中核的な担い手が確保・育成され、農業・水産業がより魅力ある産業となるとともに、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」に関わる「人のすそ野」が拡大することで、持続可能な本県農業・水産業が次世代に引き継がれる姿を目指す。</p>			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○オーガニック栽培技術研修の実施および販売戦略による経営モデルの普及・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培研修開催・経営モデル普及等経費（補助金）13,400千円 <p>○量販店出荷型イチゴ経営モデルの普及・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者研修会・経営モデル普及等経費（補助金）11,000千円 <p>○「琵琶湖システム」を構成する伝統漁法の研修の実施、世界農業遺産認定を活用した情報発信活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖漁業に就業を希望する者への研修費（委託料）10,950千円 ・湖魚販売等に意欲的に取り組む生産者団体への支援（補助金）1,500千円 <p>○湖魚や県産野菜の認知度向上・活用機会創出に向けた情報発信および体験型キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信および体験型キャンペーン実施費（委託料）13,936千円 			
KPI	<p>①新規就農者数（+40人）</p> <p>②集落営農法人数（+9経営体）</p> <p>③琵琶湖システムロゴマーク利用件数（+160件）</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>関連URL</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kens/ei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>	

事業概要【 SHIGA Smart Factory 推進プロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	418,037千円（135,699千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の製品・製造工程のグリーン化のモデルケースを創出し、横展開することでグリーン化の取組を促進する ・大学等との連携により専門知識や技能を補完し、小規模事業者等の生産性向上とグリーン化を推進する ・デジタル人材を育成し、効率的なグリーン化・スマートファクトリー化を推進する ・県外・海外企業等とのマッチングの機会を提供し、本県中小製造企業による新たなサプライチェーンへの参入を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○スマートファクトリー、グリーン化に向けた自社取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内製造現場への水素利活用促進事業 7,300千円 ・県内企業向け製品・製造工程のグリーン化・高効率化モデル提供事業 20,000千円 ・中小企業×スタートアップによるオープンイノベーション創出事業 13,800千円 <p>○スマートファクトリー、グリーン化に向けた産学官連携支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ企業と県内中小製造企業の連携事業 9,000千円 ・県内大学等のシーズによる県内中小製造企業が抱える課題解決支援事業 25,270千円 <p>○デジタル人材の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内中小製造企業のデジタル人材育成支援事業 9,160千円 <p>○新たな受注先の獲得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外企業からの受注獲得支援事業 8,505千円 ・海外企業からの受注獲得支援事業 13,414千円 		<p>中小企業×スタートアップによるオープンイノベーション創出事業</p>  <p>新たな受注獲得に向けた商談会</p> 
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 県外、海外企業と県内中小製造企業との成約件数（+17件） ② 県内中小製造企業の製造品出荷額増額分（+20億円） ③ 県内中小製造企業のデジタル人材育成数（+14人） 		<p>（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証）</p> <p>関連URL</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【子どもから選ばれる地域産業プロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	141,978千円 (54,734千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場との連携により、担い手の育成・確保を図る ・地域をつなぐ地場コンサルタントの育成およびIT・DX化により、商品開発や販路の開拓を促進し、経営基盤の盤石化を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業から教育事業へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・実演・体験型の授業やイベントの開催 26,356千円（委託料・補助金等） ・農業高校を拠点としたDX設備の導入 3,550千円 ○公設試等と連携した地域産業のIT・DX化 <ul style="list-style-type: none"> ・公設試と連携した地域産業者自身のIT・DXスキル習得 2,478千円 ○地域に根差したコンサルタントの育成やフォロー体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタントの育成 15,350千円（委託料・補助金） ・関係団体を通じたフォロー体制の構築 7,000千円（補助金） 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①県内高等学校等卒業者の県内就職率（+2.5%） ②教育機関等との連携事業に参加した子どもの数（+4000人） ③地域産業のIT・DX化に取り組んだ件数（+6件） ④地場のデザイナー・コンサルタントの育成人数（+3人） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html	

事業概要【滋賀の地域資源の発掘・保存・磨き上げ・活用サイクル化プロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	滋賀県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	144,494千円（45,496千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	誰もが地域資源の魅力を享受でき、また、地域資源が適切かつ有効に活用され、世界にその魅力が伝わるとともに、地域が活性化されることを目指す。豊富な地域資源をつなぎ合わせ、一体的な発信やツアー造成を行うことで誘客を図り、地域を活性化することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○本県特有の地理的要因（地域資源の点在）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・近江の文学普及事業（委託料）3,400千円 ・美の魅力一体的発信事業（委託料）2,860千円 ○本県特有の地理的要因（北部地域の振興）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・「近江の城」魅力発信事業（委託料：3,630千円、需用費：1,485千円、補助金6,250千円 他） ○本県特有の地理的要因（近畿圏における立地）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるっと美の魅力発信事業（委託料）5,400千円 ・滋賀の文化観光推進事業（補助金）4,200千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>文化</p> <p>滋賀県立美術館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>歴史</p> <p>近江の城</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ツアー造成 周遊・滞在</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>滋賀の 造形作品</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>自然</p> <p>スポーツ</p> </div> </div>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+105.49億円） ②地域における観光入込客数（+3,162.48千人） ③地域における観光入込客数による地域への経済波及効果（+0.40倍） ④県立美術館の展覧会観覧者数（+35.00千人） 	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

事業概要【滋賀県北部振興事業～課題先進地における地域特性を活かした魅力ある地域づくり～】

申請者	滋賀県ほか3自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,445,309千円 (341,764千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 県および北部3市が連携し、滋賀県北部地域のエリア全体としての更なる発展を図る。 北部地域のポテンシャルを最大限発揮させることにより、移住者や関係人口等の増加を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口流入を増やす、流出を減らす取組 ・新規産業用地開発促進事業（委託料）10,000千円 ○関係人口・関係企業/団体を巻き込む取組 ・企業研修コーディネート業務（委託料）11,817千円 ○エリア内の一体的な取組の推進や魅力の発信 ・北の近江振興プロジェクト推進補助金（補助金）100,000千円 ○地域力を活かした取組 ・豊臣兄弟博覧会開催事業（委託料 等）75,400千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（仮称）小谷城戦国体験ミュージアムの整備を開始 ・施設整備 10,540千円 					 <p>北の近江振興 プロジェクト</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>エリア内の一体的な取組の推進や魅力の発信、地域力を生かした取組の推進に向けて、北部3市や観光協会等と連携するとともに、地域の意向を反映しながら事業を展開する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン増加数（+340人） ②新規エリア連携プロジェクト（+25件） ③北部地域への観光入込客数（+3,198,390人） ④SMOUTランキング順位上昇値（4位上昇）

※滋賀県、長浜市、高島市、米原市の広域連携事業

事業概要【滋賀の観光産業における“新”観光力創出プロジェクト】


申請者	滋賀県ほか4自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	860,921千円 (291,971千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	社会環境や人々の価値観の変化に合わせて、柔軟に観光関連産業が変化し、その経済効果が県内各地に及ぶことで、地域経済が活性化できるように、観光産業強化の側面から新しい観光力を創出し、持続可能な観光地へのさらなる成長を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>「刷新力」「獲得力」「連結力」の3つの新しい観光力を創出することで、観光産業を強化し、本県の持続可能な観光地づくりを推進する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国内活性化事業 76,142千円 ○インバウンド誘客力向上事業 60,783千円 ○観光DMP構築推進事業 12,646千円 ○大津三大祭事業補助金 16,153千円 ○観音文化を活用した観光誘客事業 2,550千円 ○文化財保存活用事業 28,710千円 ○人流データを活用した観光地分析及び周遊促進事業 5,000千円 					<p>「刷新力」で取り組む「トランスフォーマティブトラベル」のイメージ</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>持続可能な観光地へのさらなる成長のため、地域DMO、観光事業者等と連携しながらプロジェクトを推進する。</p> <p>学識経験者、観光事業者、報道機関、住民等で構成される観光事業審議会において、プロジェクトの事業等について意見を求め、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光消費額 (+510億円)</p> <p>②延べ宿泊者数 (+56万人)</p> <p>③外国人延べ観光入込客数 (+29.3万人)</p>

※滋賀県、大津市、長浜市、近江八幡市、東近江市の広域連携事業

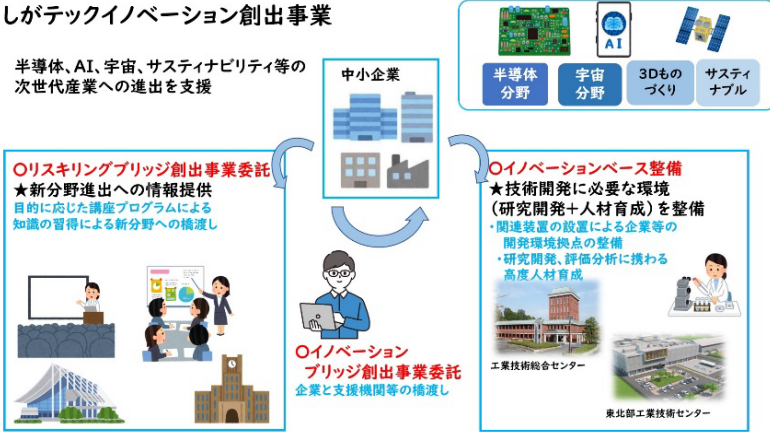
事業概要【「道の駅」活用・リニューアル&防災拠点化プロジェクト】

申請者	滋賀県、草津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,985,498千円 (120,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅のリニューアルや機能強化を進め、観光や地域振興の拠点化を図る。 道の駅周辺のアクセス道路整備を進め、物流や観光客の流入を促進し地元経済の発展に貢献する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域振興・観光の拠点として道の駅をリニューアルし、直売所やレストラン棟の販売戦略や商品の見直し等を進める。また、アクセス向上のため道路拡幅事業や、自転車周遊観光の拠点として駐車場の追加整備も実施する。</p> <p>【インフラ整備事業経費】 ○道の駅リニューアル（道路区域内） 80,000千円 ○道の駅へのアクセス道路整備 40,000千円</p>						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>施設利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高める。</p> <p>学識経験者から効果的な事業方法に関する意見をいただくとともに、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+753億円）</p> <p>②道の駅「草津」における入込客数（+214,522人/年）</p> <p>③道の駅「草津」における売上高（+274百万円/年）</p>

事業概要【(仮称)水と緑と人でつながる「THEシガパーク」おもてなしプロジェクト】


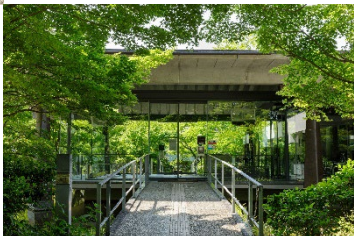
申請者	滋賀県	初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,820,651千円 (783,823千円)
経費の種類	ソフト事業 ✓ 拠点整備事業 ✓ インフラ整備事業 ✓	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者からのニーズを的確に把握するとともに、利用者へ適切かつ有益な情報を効率的・戦略的に提供する環境を整えることで、誰もがいつでも快適に利用できるサービスの向上につなげるとともに、公園間で連携した一体的な情報発信により公園利用者の増加を図る。 「THEシガパーク」のおもてなしと、サステナブルでクリーンな公共交通の充実等により、公園間および観光施設間の周遊・長期滞在を促進し、持続可能な観光地として、地元の人も来訪者ともに憩える滋賀の価値を高める。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園の快適性の向上および公園間で連携したPRの推進 ・事業費 33,000千円 ○公園と他の観光施設間での周遊を促進 ・事業費 118,223千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シガパークのおもてなし施設(トイレ、駐車場、看板)を整備 ・施設整備 52,000千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○びわ湖岸の公園のサービス水準向上のためのインフラ等の整備 ・事業費 340,600千円 ○周辺の道路環境整備や自転車等の周遊のための道路整備 ・事業費 240,000千円 <p>地方創生 地域観光への貢献 周遊観光・長期滞在 公園利用者の増加 取組 多様な公園に関係する部局が連携して公園が抱える課題を解決 ポイント 部局連携による観光につながる公園推進</p>		
地域の多様な 主体の参画	<p>THEシガパークの実現に向けて、タイアップ（市町・民間事業者・住民等との協働）の取組を展開する。 THEシガパーク・ビジョンを策定するにあたっての意見聴取・合意形成の場（検討委員会）において、教員・研究者、関係団体、企業等に委員を委嘱し、意見を求める。</p> <p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+753億円） ②シガパークにおける年間利用者数（+630千人） ③JR在来線の利用者数（+28,460人） 		

事業概要【しがテックイノベーション創出事業】


申請者	滋賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,190,354千円 (342,864千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 半導体など将来の滋賀県産業をけん引する新分野への県内企業の新規参入を促すために、大学等との連携による技術人材育成や技術開発環境の整備を行いイノベーション創出を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イノベーションブリッジ創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・企業と支援機関のコーディネート（委託費）13,600千円 ○リスクリングブリッジ創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が技術情報を得る基礎講座とより深い特別講座を開催（委託費）19,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イノベーションベース事業 <ul style="list-style-type: none"> ・工業技術センターに評価施設を整備 施設整備 310,264千円 					<p>しがテックイノベーション創出事業</p> <p>半導体、AI、宇宙、サステナビリティ等の次世代産業への進出を支援</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>県が実施するイノベーション創出事業の主体となる企業の団体である経済産業協会などへの周知や意見収集により、事業全体の改善や効果の促進を進める。県内大学などの意見の反映やリスクリングブリッジへの参画により具体的で高度な人材育成を行う。また、銀行などへの周知と協力で企業の資金の調達、事業化への伴奏などの協力を得る。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①滋賀県製造業の付加価値額増加率 (+1.14%) ②利用上位20社の製造品出荷額の増加率 (+18.9%) ③利用上位20社の現金給与の増加率 (+3.57%) ④利用上位20社の雇用者数の増加率 (+5.25%) ⑤導入する設備の利用件数 (+2,775件)

事業概要【宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県大津市、京都府宇治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	620,826千円（85,906千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・両市が持つ歴史的資源や文化資源が国内外で認知され、幅広い年代やインバウンドを含めた多様な層の観光客が両市を訪れ、両市の文化に深く触れる機会を創出する。 ・行政や民間等の多様な主体が連携することで、両市が持つ、豊かな自然環境、歴史・文化、地場産業等を、地域資源として有効活用し、地域独自の確固たるブランドを確立する。 ・地域の魅力が高まり、交流人口のみならず関係人口が増加することで、住民の自らの地域への愛着や誇りの醸成にもつながる地域づくりを目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【認知度向上】 国内外からの受け入れ体制、コンテンツの形成、海外エージェントへのPR、海外国でのプロモーションの実施。 22,200千円（大津市） 41,562千円（宇治市）</p> <p>【地域消費額の向上】 新規ターゲットに向けた賞品の造成や受け入れ整備やブランド化。 15,000千円（大津市） 5,844千円（宇治市）</p> <p>【データやデジタル技術の活用】 持続可能なデータ及びデジタル技術の活用。 1,300千円（大津市）</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①大津市での観光消費額（+406千円） ②宇治市へ訪れた観光客の飲食店利用率（+4%） ③京都を訪れた観光客の大津市への来訪率（+9.9%） ④京都を訪れた観光客の宇治市への来訪率（+18%） 		<p>関連URL</p> <p>（効果検証） 令和7年10月公開予定</p>

事業概要【小規模館来館者数日本第2位のプラネタリウムを活用した地域活性化事業】

申請者	滋賀県大津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	268,832千円 (300千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>科学館プラネタリウムをリニューアルし、最新式のデジタル投影機器を導入することで星空、宇宙の投影の他、さまざまなプラネタリウム体験を乳幼児から幅広い世代に提供するとともに、大津市の魅力を発信し、大津市への愛着を育み、交流人口の拡大、定着人口の増加を図る。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 デジタル式プラネタリウムの導入の他、音響、照明等を含めた空間を整備し、また、デジタルデータを取り扱う自由度を高め、さまざまなプラネタリウム体験を提供するとともに、大津市の魅力を発信する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○整備基本計画取りまとめ及び施設活用計画等作成 ・委託料 300千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と共同で学生を対象に投影を行い、学生視点の意見を求めプラネタリウム投影に反映する。プラネタリウムを活用した星空観望会を実施している地元天文同会と連携し、電子観望など外部データの活用に意見を求める。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①社会増加数 (+7,863人) ②大津市に住みたいと思う人の割合 (+1.20%) ③大津市が安心して子どもを産み、育てることができる環境だと思う人の割合 (+1.20%) ④プラネタリウム観覧者数 (1日あたり) (+50人)</p>

事業概要【起業にチャレンジできるまちづくり事業】


申請者	滋賀県近江八幡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,109,014千円 (40,994千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>総合戦略に「商工業の振興」および「創業支援と雇用の場の確保」を位置付け、地方創生を実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 起業家が集まる起業支援施設を整備し起業に向けた育成を行って、チャレンジ精神にあふれた起業家の輩出と雇用の場を創出します。 • 就きたい魅力的な仕事が見つかるようにして働きたい人々を呼び込み、昼間人口を向上させます。 • 新たな産業の創出と地域内経済循環を促進し、近江八幡市を持続可能なまちにします。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域の多様な主体の参画による地方創生に向けた課題解決のための共創型ワークショップを実施。地域の意見を反映した施設のあり方の基盤づくりを進め、施設を活用した起業支援プランを通じて課題解決に至るよう実行計画を検討 起業を希望・準備する人や起業初期の人を対象に支援する「起業支援インフラ」を整備</p> <p>【ソフト事業経費】 ○施設運営計画策定事業 ・計画策定（委託料）20,000千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○勤労者福祉施設の模様替え事業 ・実施設計（委託料）20,994千円</p>					<p>近江八幡市勤労者福祉センター (アクティ近江八幡)</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>金融機関や起業家、商工会議所等による起業に特化した資金相談窓口や資金計画作成や、事業者とのマッチング等に取り組む。起業家を育成するため、職能大学や高校によるセミナーやワークショップの開催や、まちづくり会社による地域資源を活用したビジネスモデル等の提案等、地域内での連携を促進する。</p> <p>指定管理者に起業支援事業を実施してもらい、起業家数や利用者の増加等につなげるとともに、起業希望者が集まるコミュニティの形成と育成により起業の成功率を向上させる。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①商工団体が把握する起業家数（+17件） ②支援事業を通じた起業家数（+11件） ③起業支援施設の延利用者数（+1,400人／月平均）</p>

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業】

申請者	滋賀県草津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	511,005千円 (200,860千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	山田まちづくりセンターを新築し、地域の人口を維持するとともに、コミュニティビジネスによる収入やまちづくりセンター利用者数を増加し、まちづくり協議会の自立性を促す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 山田まちづくりセンターの老朽化に伴い、新たに食品営業許可付き調理室を兼ね備えたまちづくりセンターを整備し、地元農産物を使ったコミュニティビジネスの機会を創出する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 山田まちづくりセンターを整備 ・施設整備 200,860千円</p>					<p>イメージ図</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、農業協同組合等、地域内での連携を促進する。</p> <p>まちづくり協議会にイベントを開催してもらい、利用者の増加等につなげるとともに、町内会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域の人口・世帯数 (▲11人)</p> <p>②コミュニティビジネスによる収入増 (+290千円)</p> <p>③山田まちづくりセンターの利用者数 (+1,422人)</p>

事業概要【「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業】


申請者	滋賀県草津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	559,334千円 (204,010千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	矢倉まちづくりセンターを新築し、矢倉学区を代表する地域資源の活用や立命館大学などとの協働を通じて、センターの利用者やセンターにおけるイベント参加者の増加を図ることで、地域コミュニティの活性化ひいては矢倉学区の人口の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 矢倉まちづくりセンターの老朽化に伴い、新たにまちづくりセンターを整備することで、地域コミュニティの希薄化の解消や子育て支援環境の充実等を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 矢倉まちづくりセンターを整備 ・施設整備 204,010千円</p>					<p>イメージ図</p> 	
地域の多様な 主体の参画	立命館大学などと協働しながら、まちづくり協議会がイベント等を実施することで、まちづくりセンターの利用者の増加や地域住民の関係性構築等につなげる。					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①矢倉学区の人口 (+40人)</p> <p>②センターの利用者 (+1,700人)</p> <p>③センターにおけるイベント参加者 (+280人)</p>

事業概要【守山を実証実験のフィールドに！起業家の集まるまちづくり実現プロジェクト】



旧制度（推進）

申請者	滋賀県守山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	22,000千円（7,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の雇用や魅力的なしごとの創出を図る。 ・多様化する社会課題、市内のDX・GX推進や人口が増加するまちを背景とする地域課題の解決を図る。 ・地域内のイノベーション人材を発掘し育成する。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要・主な経費】</p> <p>○本市を実証のフィールドとして活用するための事業（実証実験）の実施およびこうしたフィールドを求める企業等との関係構築のための起業家交流イベントの実施。</p> <p>・地域課題解決プロジェクト創出事業（委託料・補助金）：4,100千円</p> <p>○地域支援機関とスタートアップ等との協業による事業および新たな価値（イノベーション）を創造する地方創生人材を発掘・育成する事業の企画・実施および取組の総括・効果検証を行う。</p> <p>・課題解決ワーキング事業（委託料）：2,900千円</p>		 <p>Assemble! Challengers!</p> <p>起業家の集まるまち 守山</p> <p>【起業家の集まるまちのロゴデザイン・フレーズ】</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①UIターンによる起業・創業件数（+15件） ②本事業を通じたプロジェクトの本市ホームページへの掲載件数（+15件） ③関係人口創出数（+300人（社）） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.moriyama.lg.jp/sangyo_business/kigyouka/index.html （効果検証） 調整中</p>

事業概要【守山市地域子育て支援拠点施設整備事業】

申請者	滋賀県守山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	125,561千円 (125,561千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 気軽に立ち寄れる子育て支援拠点施設を開設による子育て世帯の「孤立化」の防止と子育てに関する「不安感」の軽減等による「住むなら守山」、「子育てするなら守山」の実現 • 多様化する子育て世帯の地域での自主的な活動の場の提供による地域活性化と女性活躍推進による「住むなら守山」、「子育てするなら守山」の実現 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>平和堂守山店の2階テナントの引渡しにあわせて、地域子育て支援拠点施設の整備を実施。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○ 駅前の商業施設に地域子育て支援拠点施設を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物本体工事 70,971千円 (うち、交付対象経費64,879千円) ・ 電気設備工事 26,685千円 (うち、交付対象経費24,394千円) ・ 機械設備工事 23,344千円 (うち、交付対象経費21,341千円) ・ 工事施工監理 5,280千円 (うち、交付対象経費 4,827千円) ・ 備品購入費 10,120千円 (うち、交付対象経費10,120千円) 						
地域の多様な 主体の参画	<p>子育て支援拠点施設を活用した事業（例えば離乳食教室や子育て悩み相談など）により、地域主導の子育て支援体制の構築と、子育て世帯同士の横の繋がりによる子育ての「孤立化」の防止等の役割を担ってもらうため、地域子育て拠点施設を利用する子育て世帯の意見を反映したタイムリーに必要なとされている内容のイベント等を実施する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 毎年度4/1時点の12歳未満（小学生まで）の人口減少率（▲0.25%） ② 施設の来館者数（+32,600人） ③ 子育てコンシェルジュによる子育て相談等件数（+2,544件） ④ 子育てサークル、子育てボランティア団体の登録数（+16団体） ⑤ 子育てサークル、子育てボランティア団体の貸館利用件数（+384件）

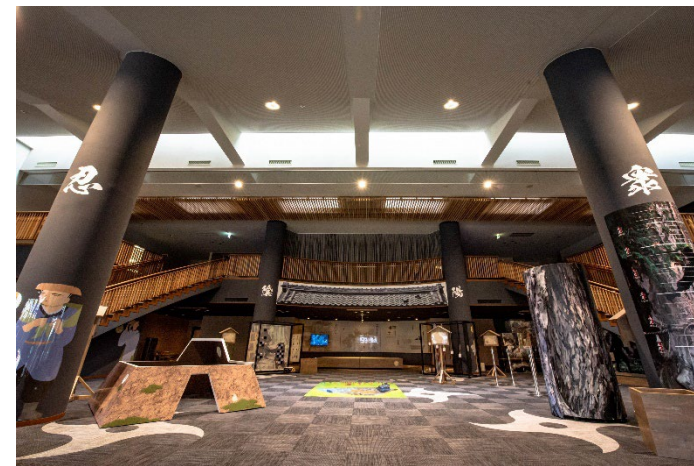
事業概要【民間商業スペースを活用した子育て支援施設の整備事業】

申請者	滋賀県栗東市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	61,400千円 (61,400千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	子育て世代の地元定着の取り組みを促進するため、小中学生の子どもの居場所の充実や様々な体験等が出来る機会の充実、子育てに関する不安や負担の解消のため、身近で気軽に利用できる子育て親子の交流や相談の場、様々な子育て情報が得られる場など、子どもや子育て世代を支援する仕組みを構築し、安心して子どもを産み、育てられる環境として、子育て支援施設の整備を図る。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 大型商業施設への子育て支援施設の移設工事を実施。 児童館機能と子育て支援センター機能に加え、新たに多目的ホールや相談室を整備。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○民間商業スペースに子育て支援施設を移設し、子育て世代が交流できる場を整備する。 ・移設工事費 59,600千円 ・電気・通信設備工事 900千円 ・備品購入費 900千円</p>				<p>児童館で遊んだあと ゆったりと買い物ができます</p> <p>子育て相談員が 育児や就労等の悩みに応じます</p>  <p>親子が安心して遊べる場や 読み聞かせなどの触れ合いの場を創出します</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>商業施設（事業者）：市が実施する子育て講座等への協力（人材派遣等）や、協働でイベント等を開催してもらう。 子育て市民活動団体：子育て親子が交流・活動につながる講座等を開催してもらう。また、参加者等から収集した情報や意見等の提供、事業・運営等に対する助言を求める。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①人口の社会動態（転出超過の多い年代（0～4歳と35～44歳）を抑制する人数（▲370人） ②子育て講座の開催数（件数）（+9件） ③子育て施設の利用者数（延べ人数）（+2000人）</p>

事業概要【歴史文化を活用した観光ハイブリット事業】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	501,897千円 (94,866千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化を始めとする地域資源の磨き上げによる魅力発信を発信する ・「忍者」を核とした観光誘致を図る ・史跡を活かした拠点整備等を行い、歴史文化を活用し、マイクロツーリズムを促進する 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○東海道の歴史的なまち並みを活かした周遊観光ルート整備 ・土山宿本陣等の資料調査及び活用経費ほか8,240千円 ○史跡を活用した地域活力の創造 ・地域協働による史跡活用、歴史講演会の開催ほか2,158千円 ○国史跡水口岡山城跡の魅力発信 ・歴史講演会の開催、見学路等の環境整備1,607千円 ○中世城館の城跡の情報発信や環境整備 ・城跡活用にかかる維持管理（委託料）1,000千円 ○信楽焼の調査・保持者認定による焼き物の魅力発信 ・信楽焼調査の実施に伴う調査（報酬）ほか3,322千円 ○忍者に関連する文化財や史跡等の地域資源の体験型コンテンツの開発 ・日本遺産関連施設整備（委託料）ほか33,518千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊を伴う観光客数（+194,114人） ② 外国人観光客数（+110,793人） ③ 市内観光消費額（+9,817百万円） ④ 資料館等施設来館者数（+9,000人） 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.koka.lg.jp/9517.htm




事業概要【道の駅あいの土山整備事業】

旧制度（拠点整備）

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,499,387千円 (41,558千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	老朽化した既存建物を解体して拡張した隣接地に新たな道の駅あいの土山を建築し、土山茶の魅力を伝えるためのブランド「土山一晩ほうじ」をはじめとする本市で生産された農産物を集中的に取り扱うことにより、市内農産物の農業振興を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 道の駅において、地元産農産物を中心とした特産品等の商品開発を行うとともに、様々な体験プログラムやイベントを展開して集客を図る。また、デジタル技術を活用した周遊型観光の促進、防災機能の強化等にも取り組む。</p> <p>【効果促進事業（ハード事業）】 【外構工事】 41,558千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①施設来訪者数（+81,278人） ②施設売上高（+65,134,496円） ③市内新規就農者数（+20人） ④出荷者数（+90人）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.koka.lg.jp/9517.htm</p>


事業概要【外国人市民の定住のための多文化共生推進事業】

申請者	滋賀県甲賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,919千円 (9,439千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・「ものづくり企業」「福祉事業所」における人材不足が顕在化するなか、地域産業を支える人材をさらに呼び込むとともに、単身、短期労働者、いつかは母国に帰るゲストとして捉えるのではなく、家族とともに地域で暮らす市民として定住し続けていただくことで、域内経済の活性化と企業の生産性の向上を実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 外国人市民を単身、短期の労働力として捉えるのではなく、いつまでも地域に住み続けていただくことを目的として、県内初の甲賀市多文化共生センターを設置し、令和7年度の本格運用開始に向けて準備を進めている。本センターでは、外国人相談、日本語ゼロ初級者を対象とした日本語教室、外国にルーツを持つ子どもの学習支援を中心に取り組みを進める予定であり、外国人相談窓口の運営に係る経費は、行政の責務として、市からの委託料を想定するとともに、日本語教室や外国人材の紹介、外国人材の労働環境整備に向けたメンター派遣、外国人材を雇用している企業へのコンサルティングについて、雇用主である企業に一定の費用負担により収入を得る。また、外国人労働者を雇用する企業が、外国人の生活支援を主として担う、国際交流協会の法人会員となることで収入増につながり、自主財源による持続可能な取り組みとなる。外国人市民が一時的な労働者ではなく、地域の担い手のひとりであることを理解することで、外国人市民の自治会への参加、自治会費などの増収につながり、自治に係る経費の圧縮に結び付けるとともに、外国人市民の市内企業への就業や定住者となることで、市民の増加及び市内事業者の収益増加が図れ、結果として増収による自主財源の増加につなげることとなる。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活支援 3,930千円 多言語対応の情報提供、外国人相談窓口の運営、専門家による定期相談会、生活オリエンテーション 定住促進、雇用支援 1,113千円 地元不動産業者との連携、外国人の雇用支援、衣食住に関する支援 コミュニティ支援 4,396千円 異文化交流イベントの開催、日本語教室の充実、放課後学習支援 						
地域の多様な 主体の参画	<p>甲賀市工業会・滋賀県宅建業協会 多文化共生推進委員会・甲賀市国際交流協会・ハローワーク 京都教育大学・立命館大学・小中学校・高校・日本語学校 滋賀銀行・甲賀農協・市内郵便局 あいコムこうか・エフエム花 外国人市民</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> 市内における外国人人口 (+1,332人) 相談窓口における外国人相談者数 (+3,695人) 日本語教室における学習者数 (+125人) 地域における多文化共生事業の実施数 (+3か所)

事業概要【道の駅あいの土山と茶生産振興対策事業】

申請者	滋賀県甲賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	129,600千円 (42,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・道の駅あいの土山を再整備し、運営を自立させる取組と同時に茶をはじめとする市内農産物の魅力を伝えるための展示企画を実施する。また、茶のブランディングを行い、国内はもちろん、海外へ輸出するための生産者支援を行うことにより、生産者の収益改善と農業の担い手不足を解消する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 ○道の駅あいの土山のプロデュースを手掛けるコンサルとも連携し、お茶を活用した飲食メニューや商品を提供するとともに、お茶の魅力を発信する企画等を実施する。また、ブランド化した「土山一晩ほうじ」のPRや需要が増えている有機栽培茶への転換を促進する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○道の駅あいの土山組織強化事業 20,100千円 運営会社に対して、経営にかかる初期支援及び組織体制の強化（補助） ○甲賀の茶ブランド化事業 7,300千円 産地ブランドストーリーの整理および構築、訴求先の整理、ターゲティング、そのPR実施。 ○有機栽培促進事業 5,000千円 有機栽培への転換を補助 ○茶生産機械等購入補助 10,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>○地元企業と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組む。 ○道の駅の指定管理者にイベント等を開催してもらい、利用者の増加につなげるとともに、地元自治振興会と連携し、お茶や旧東海道などの地域資源を活用した集客事業に取り組む。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①市町村別農業産出額（+15,300千円） ②輸出用生産量（+30トン） ③市内の新規就農者数（+9人） ④道の駅あいの土山の農産直売物の販売額（+7,000千円）</p>

事業概要【若者定住のためのモノづくり企業活躍推進事業】


申請者	滋賀県甲賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	63,430千円 (10,750千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<p>・市内企業の短期的な視点での人材確保に取り組むとともに、児童生徒や学生に対する市内企業の認知度向上及びモノづくりに対する機運醸成等、中長期的な視点での人材確保に向けた取り組みを始めることで、地域の産業振興と活性化、若者の地元定着を促進する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 小中学生のモノづくりに対する機運醸成ならびに若者の市内企業への就労、市内定住に寄与する事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域一体型オープンファクトリー開催支援補助事業 (事業費 500千円) ○万博ソフトレガシー創出イベント開催事業 (事業費 3,000千円) ○地場産業次世代人材創出事業 (事業費 2,800千円) ○若者の創業支援事業 (事業費 1,000千円) ○若者ラウンドテーブルの運営事業 (事業費 3,450千円) 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>学校や民間企業、地場産業関係者等と連携し、工場見学や子ども達にモノづくりの魅力を体感する機会を創出する。 また、若者の創業を後押しし、定住を促進する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①経済活動市内総生産 (+350.4億円) ②法人市民税納税者数 (+60人) ③市民納税者数 (+900人) ④粗付加価値額 (+186.6億円) ⑤就職面接会内定者数 (+6件)

事業概要【若者・子育て世代に選ばれる貴生川駅周辺公民連携まちづくりプロジェクト】

申請者	滋賀県甲賀市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,408,896千円 (30,402千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<p>・本市の交通結節点という立地と地域資源を活かした持続可能な公民連携によるまちづくりを推進し、市民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とし、パブリックマインドを持つ民間事業者を行政がハード面ソフト面で支援することで、若者・子育て世代に選ばれるまちを実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 貴生川駅周辺の拠点整備やインフラ整備を一体的に進めるマスタープランを作成する。渋滞緩和に加え、民間事業者の公共性を意識した活動を両立させるべく駅北口ロータリーの整備を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○公民連携事業マスタープラン作成支援 ・公民連携による事業構築支援（委託料）19,802千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 ○貴生川駅北口ロータリー改修事業 ・設計費 10,600千円</p>					<p>■ 貴生川駅周辺のエリアデザイン（案）</p> <p>生活利便施設 集合住宅地 空き家活用 コミュニティセンター 駅前広場 商業施設 河川敷 歩行者専用橋</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>【産官学金】（産）甲賀市商工会、甲賀市工業会、JAこうか、甲賀市観光まちづくり協会、信楽町観光協会、貴生川まちづくり協議会、JR西日本、近江鉄道、信楽高原鉄道、水口青年会議所、UR都市機構（官）甲賀市（学）立命館大学（金）滋賀銀行、JAこうか、地域住民らで構成する貴生川エリアプラットフォームにより、未来ビジョンを策定し、実現に向けた取り組みを行っている。取り組みの発信には地元ローカルテレビのあいコムこうかや地元ラジオ局エフエム花により発信する。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①甲賀市の人口減少数の縮小（-6,525人） ②若者（30歳代以下）の定住意向（+19.9%） ③貴生川駅の乗降客数（+1,567人） ④民間による駅周辺でのイベント回数（+40回）</p>


事業概要【野洲川MIZBEステーション整備事業】

申請者	滋賀県野洲市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,490,800千円 (41,276千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・激甚化する台風等の自然災害への対応拠点であるMIZBEステーションを、かわまちづくり制度と併せて整備することで、地域資源を活用した観光振興の促進、自然とふれあえる空間の整備や、隣接する滋賀県立高等専門学校との連携により人材の育成支援促進を図る。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>地域の賑わい、水辺利用・自然環境、防災等の機能を備えた拠点を整備し、定期的なイベント等による賑わい、防災訓練等の活動、地域で活動する団体・コミュニティ活動、環境学習等の活動が可能となる空間創出によるまちの活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○MIZBEステーション整備に向けた賑わい創出イベント ・委託料3,000千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○施設運営に必要な下水道の引込工事 ・負担金 38,276千円</p>					
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>指定管理者や市内団体等がイベントを開催し、利用者やプレーヤー等の関係人口の増加や関係性の構築を図る。 県立高等専門学校や地域企業と連携し地域課題の解決に取り組む。 市民・団体・自治会と連携し、利用者の視点で当該施設の利活用方法等についての意見を吸い上げ、施設運営への反映に取り組む。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①野洲市の人口 (▲768人) ②地域への年間観光入込客 (+25,400人) ③施設の利用者 (+48,000人)</p>


申請者	滋賀県湖南市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,022千円 (4,950千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	1 産業力が強化された活力あるまちの創造 2 地域が主体となった持続可能なまちの創造 3 安心して暮らせる基盤の整ったまちの創造 4 観光と交流による活性化されたまちの創造			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○協議会設置事業（1,050千円）自治体地域新電力会社を中心にSDGsに取り組む企業の参画の促進を図るための経費 ○SDGs×地域資源等教育推進事業（900千円）市内中学校・高等学校でのSDGs体験教育を市内企業との連携により行う事業のための委託費 ○林福連携事業検討（800千円）障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給をめざすためのコーディネーター育成の委託費 ○農福連携事業検討（600千円）ソーラーシェアリングにかかる農福連携の取組のための委託費 ○（仮称）若者まちづくり課プロジェクト創生事業 750千円 ○官学民連携ロールモデル創生事業 750千円 ○まちづくりフォーラム 100千円 SDGsの視点にもとづきまちづくりをテーマに、大学連携による専門的な知見の活用や、地域が主体となってSDGsの活動を行う経費			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGsに配慮した活動を展開する企業数（+56社） ②自然エネルギー等導入による流出しているエネルギー費用を域内で還流（+550,000千円） ③官民連携によるESG投資（+230,000千円） ④市内観光入込客数（+169,244人）		関連URL https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/sogo_seisaku_chiiki_osei/6/sougousennryaku/sougousennryakuhyoukakai/index.html	

事業概要【米原市スマート農業推進事業】

旧制度（推進）

申請者	滋賀県米原市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	5,590千円（1,340千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・意識啓発・学びの場の創出および技術導入における財政支援に一体的に取り組み、スマート農業の導入・普及を図る ・スマート農業の導入・普及の推進を通じて、市内農業者の作業の効率化、省力化、収益性の向上を図る ・未来の担い手としてスマート農業技術を使いこなす人材の確保・育成を図る ・最終的に、本市農業における担い手の確保・育成による持続可能な地域農業を目指す 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○市内先輩農家から具体的な活用方法や工夫、課題等を学ぶスマート農業視察会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・（視察先への謝礼）40千円 ○スマート農業への関心、知識、導入意欲を向上することを目的に有識者を招聘するスマート農業勉強会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・（委託料）100千円 ○新たな担い手となる農業者の掘り起こしおよび育成を目的とした「まいばら農業塾」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・（需用費、講師謝礼、使用料及び賃借料、委託料）1,200千円 			
KPI <small>（★は必須KPI） <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農作業時間の縮減（+55%） ②スマート農業技術の導入件数（+10件） ③上記②の内、重点目標の件数（+4件） ④スマート農業視察会の参加者数（+59人） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.maibara.lg.jp/so-shiki/keizai_kankyo/nousei/nougyo/19419.html 他調整中 （効果検証） https://www.city.maibara.lg.jp/so-shiki/seisaku/sesakuka/gyosei/so-ugousenryaku/index.html	

事業概要【ふるさと日野の“たから”を守り伝え、活かし、未来へつなぐプロジェクト】

申請者	滋賀県日野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	282,307千円 (71,277千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的(効果)	<p>・地域総がかりで取り組む日野を日野たらしめている歴史文化（「文化財（歴史的・文化的・自然的所産）＝日野の“たから”」と当町固有の自然・地理環境、社会・歴史環境の総体）を活かした取組を観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が歴史文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的とする「歴史文化観光」の推進を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>●日野の“たから”の魅力発信・体験・体感事業 ・日野の“たから”デジタル情報発信事業（町：委託料5,881千円）</p> <p>●特色ある多様な日野の“たから”のブラッシュアップによる地域活性化事業 ・「近江日野産日野菜」振興事業（町：日野菜振興・誘客促進人件費4,323千円、委託料583千円、需用費281千円、役務費51千円、報償費10千円、団体：補助金13,515千円）</p> <p>●日野の“たから”を活かすための来訪者の受け入れ環境整備事業 ・来訪者等の移動ニーズに応える地域公共交通検討事業（町：委託料24,700千円、負担金3,231千円）</p> <p>●日野の“たから”を支える多様な人材育成事業 ・日野の“たから”「祭」人材育成事業（団体：補助金2,358千円）</p>					<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日野を日野たらしめている歴史文化を ともに 守り伝え、活かし、未来へつなぐまち “ふるさと日野”</p> </div>  <p style="text-align: right; font-size: small;">日野町の眺望</p>	
KPI	<p>①観光入込客数（+73,567人） ②事業を通じた交流人口増加による経済波及効果の増加額（+180百万円） ③人材育成事業（養成講座等）への参加人数（+210人）</p>					関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） ※採択後、速やかに公表する。 （効果検証） ※初年度終了時点で地域の多様な主体の参画による効果検証及び改善方策への反映を行うとともに公表する。</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【地域共生社会2.0事業】

<p>申請者</p>	<p>滋賀県愛荘町</p>					<p>初回採択回</p>	<p>令和7年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R7-R9年度</p>					<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)</p>	<p>39,753千円 (13,017千円)</p>
<p>経費の種類</p>	<p>ソフト事業</p>	<p>✓</p>	<p>拠点整備事業</p>		<p>インフラ整備事業</p>	<p>事業分野</p>	<p>まちづくり分野</p>
<p>目的・効果</p>	<p>・つながり居場所づくり事業 「次代の地域リーダー」「健康寿命の延伸」「世代間交流」「地域資源参画による経済効果」が期待でき、支え・支えられる循環型の地域共生社会を創出する。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>健康居場所づくり事業において、世代を越えて他者と交流しながら、「地域共生社会」の実現のため、地域課題や地域に目を向ける研修を行い、人と人との「つながり」づくりに取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○地域共生社会2.0事業 事業運営（委託料）13,017千円</p> <p>（内訳） 人件費：7,975千円 消耗品費：195千円 委託料（講師料等）：3,190千円 車両費：550千円 手数料：5千円 通信運搬費：40千円 租税公課：1,062千円</p>						
<p>地域の多様な 主体の参画</p>	<p>「地域共生社会（多様な人がつながり、支え合うため）の場づくり」として、多世代を対象とした「つながる健康教室」の実施や地域資源を巻き込んで、「つながる居場所づくり」を実施し、参加者が自ら内容を提案したり、ボランティアだけでなく、企業や事業所が居場所づくり等のまちづくりに参画できるよう工夫し、地域で活躍するリーダーを育成する。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①愛荘町内の人口（+150人） ②地域における居場所設置数（+3ヶ所） ③つながり居場所づくり事業参加者数（+1,680人）</p>